

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児発・放デイ事業所のんの・ぴらさ		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日	～	令和8年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日	～	令和8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが 期待されること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスの児童が中心ではあるが、受け入れの年齢を年長児から受け入れることで、就学への見通しを持って支援することができる。	年長の年齢の児童から受け入れを行い、就学児童の様子を見て、共に生活することで、自らの就学への期待と見通しを持って備えることができるような取組みを行っています。	就学先の情報共有や現時点での個別の課題をしっかりと把握し、就学に対して、見通しを持ち、自信を付けて就学できるような取組みを提供していきます。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士・地域社会との連携、繋がりがあまり強くない。	現時点でもニーズと求められるものに差がある。交流の機会を設けても（地域も含めて）参加できる人に限りがある。	継続して、交流や連携できるような場を提供していきます。
2	児童発達支援の児童が多く受け入れることができない。	定員の関係や放課後等デイサービスの児童の新規利用児の増加に伴い、児童発達支援児の受け入れの枠が無くなってしまったため。	受入れ年齢の検討や、同法人他事業所との連携により、児童発達支援の児童に対しての支援を継続して行っていけるよう工夫していきます。
3			